

1. 前の語に意味を「プラス」する

土台の言葉（動詞）

花 咲く。

（花が咲く、という事実
を述べているだけ）

土台 + 助動詞

花 咲くべし。

（「花が咲くはずだ」と
いう「当然」の意味がプ
ラスされた）


2. 助動詞も「活用」する

 助動詞は、動詞と同じように「活用」します。

つまり、後ろに続く言葉によって形が変わります。

例えば、過去の助動詞「けり」も…

✓ 文の終わり（終止形）：「…けり。」

 「時」など名詞につく（連体形）：「…ける時」

3. 意味は「たくさん」ある

助動詞ごとに意味が違う

助動詞はたくさんあり、
それぞれが違う意味を持
っています。

覚えることが大事！

助動詞ごとに「主な意
味」と「訳し方」をセッ
トで覚える必要があります。

3. 意味は「たくさん」ある（意味と訳し方の例）



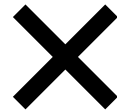
「む」

意味 : 推量
意志 など
訳し方 : ~だろう
~しよう



「たり」

意味 : 完了
存続 など
訳し方 : ~しまった
~ている



「ず」

意味 : 打消
訳し方 : ~ない

4. 「つながれる」形が決まっている。(=接続)

「咲く」の連用形「咲き」

○ 咲き けり

× 咲き ず

連用形に 過去の助動詞「けり」はつながれるが、
打消の助動詞「ず」はつながれない。

4. 「つながれる」形が決まっている。(=接続)

「咲く」の未然形「咲か」

× 咲か けり
○ 咲か ず

未然形に 過去の助動詞「けり」はつながれないが、
打消の助動詞「ず」はつながれる。

未然形にだけつくよ！

る・らる・す・さす・しむ
ず・む・むず・じ・まほし・まし

連用形にだけつくよ！

未然形につく場合あり

→ き・けり・つ・ぬ
たり(完了)・たし・けむ

終止形にだけつくよ！

べし・まじ・らむ・めり
らし・なり(推定)

特殊なつき方をするよ！

なり(断定) 連体形・体言
たり(断定) 体言のみ
ごとし 連体形・体言
助詞「の」・「が」
り サ変未然形・四段已然形

ラ変型以外には終止形につく

○死ぬ(終止形)べし

×死ぬる(連体形)べし

ラ変型には連体形につく

×あり(終止形)べし

○ある(連体形)べし